



小松市立矢田野小学校 学校だより

ももくさ

令和6年12月5日

校長 しんみょう 新名 孝

人権集会 ～みんながスペシャル～

12月2日（月）、人権集会が行われました。児童あいさつ運営委員のハキハキとした司会で会が進められました。内容は以下の通りです。

①各クラスのスペシャル宣言

どのクラスの代表も自分たちのクラスのよさを堂々と表現していました。

1・2年生はとても元気な大きな声で発表することができました。体育館でみんなに聞こえる声でしっかり話せていました。すばらしい！

3年生は「思いやり」、4年生は「なかよし」というフレーズがどちらのクラスからも聞かれました。これからも大事に、思いやり・なかよしの輪を全校に広げていってほしいです。

5年生からは「働く」という言葉が出てきたのが印象的でした。田植え、稲刈り等のコメ作り体験がクラスのよさとなって生きているのかなと思いました。

6年生は1組が「やる気」「積極的」・・・、2組が「協力」「団結」・・・とそれぞれ違ったよさを発表していました。両クラスのよさを合わせて、今後も学校を盛り上げてほしいです。

②各クラス代表のスペシャル宣言

自分の弟や妹、ペットの猫・・・、自分が頑張っている鉄棒やサッカー、水泳やチアダンス・・・、自分の得意なけん玉やイラスト画、ルービックキューブ・・・、お祖母ちゃんと一緒に造ったお庭・・・等の紹介がありました。

発表を聴いている仲間から「すごい」「がんばれ」「おいしい」等の声が自然とあがっていました。また、どの発表にも拍手がおくられ、あたたかい雰囲気に包まれていました。

③先生方のスペシャル宣言

今年、矢田野小学校に赴任した3人が発表させてもらいました。

- ・校長・・・2024.1.1 能登町の実家で被災したが、今、元気でいられること
- ・片野・・・サンダル飛ばし、カラーリング、スノーボード等にチャレンジしたこと
- ・中村・・・弾き語り「世界に一つだけの花」 思いっきり歌うこと

全校で「みんな違って、みんないい」を実感できたとても有意義な時間でした。

ご家庭でも我が家のスペシャルについてぜひ、お話してみてください。